

「消防学校ニュース」

平成 29 年 2 月 15 日発行

◆ 第 2 回野外訓練(初任科第 86 期) - 夜間強歩訓練 -

2 月 9 日から 10 日にかけて、初任科第 86 期の第 2 回野外訓練を実施しました。この訓練は、静岡県内の消防職員として、東海地震・南海トラフ巨大地震等の大規模災害に備え、長時間にわたる災害対応に必要となる強靱な体力・精神力を養成し、消防部隊活動における団結力の必要性を再認識することを目的とし、当校の初任教育の一環として毎年実施しています。

第 1 部は、9:00 から 15:10 まで消防学校の訓練施設において救助訓練、体力練成訓練を実施しました(写真は体力練成訓練。消防の実技を組み合わせたサーキット)。

第 1 部 ホースカー搬送



第 2 部は夜間強歩訓練。第 1 部の終了後、スタート地点へ移動し、

20:10 から徹夜で歩きます。沼津千本浜から消防学校まで、4.3km の公道を 20kg の荷物を背負って臨みました。学生 37 名がチャレンジし、厳寒の中をよく耐え、翌朝 8:10 に無時帰校しました。

第 2 部 夜間強歩の様子



◆ 救急科第 26 期 --- 実技訓練が本格化 ---

専科教育救急科第 26 期は入校から 1 ヶ月近くが経過し、2 月前半からは実技訓練が本格化してきました。座学では、「病態別応急処置」、「特殊病態別応急処置」などを順次実施しました。実技訓練では、「応急処置各論」の①聴診器・血圧計・止血・ショックパンツ等、

②酸素吸入、人工呼吸、胸骨圧迫、心肺蘇生法、③気道確保・異物除去などを実施しました。

写真左は“異物除去”の様子



“小腸脱出に対する創傷被覆処置”の様子